

2年生がプレゼン 赤城山地域を活性化するには？

イチマエ探究学習リーダー養成講座

探究通信第11号

めぶく

地域活性化プロジェクト



探究通信 第11号 (R4.1号)

8月24・25日に2年生の希望者29名が「イチマエ探究学習リーダー養成講座」合宿プログラムに参加した。全員に与えられたお題は「赤城山地域の活性化」だ。



合宿の2日間で探究プロセスの基礎を学び、深めることができた。

本校独自のプログラム

本校では過去2年間にわたり、国立赤城青少年交流の家と学校連携をして地域探究プログラムを行い、地域探究アワードに参加してきた。今年度は本校独自のプログラムとして、2年時の「模擬前橋市長選挙」や「高校生模擬議会」など本校の探究活動を引っ張って

いくリーダーを育てていく目的で実施した。7月20日にはガイダンスを行い、探究の学びのプロセスやどのような視点で活動を進めるかなどの手法を学んだ。そして、8月24・25日の合宿では視点を持ちつつフィールドワークに臨み、知り得た情報をもとに6チームでそれぞれ意見を出し合い、赤城山を活性化するための具体的解決策を発表するということをやってきた。



1日目は赤城大沼湖畔でフィールドワークを行った(①のDJKでガイド(前橋観光コンベンション協会と連携)の説明を聞きながら湖畔をまわる②大沼商店街にてインタビュー③覚満淵を散策)。夕方からは活動場所を国立赤城青少年交流の家に移し、それぞれのチームで情報の整理・分析や課題の設定を行った。2日目にはまとめ・表現とい



うことでチームごとの視点で赤城山地域の活性化についてプレゼンテーションを行った。地域課題を可視化し、それをどのように解決していくか具体的に提案するという探究のプロセスを体現した。今後、彼らはそれぞれが考える地域課題、そしてそれを解決する具体案についての報告書を仕上げていることになる。

「まえばしハニープロジェクト」×市前=絵本

昨年度から本校は「まえばしハニープロジェクト」(前橋市まちづくり公社)と地域活性化のために何ができるかということで連携を模索している。今年度は2年生の希望者18名が、ミツバチという存在の大切さをテーマにした絵本作りを進めている。6月には総合運動公園で養蜂に携わる職員の方にミツバチの生態について教えていただき、ストーリー作りの素材を集めた。また、8月7日にはまえばしハニープロジェクトの発起人である、FM群馬のラジオパーソナリティ内藤聡さんにいい絵本を作ることを約束してきた。絵本は今年度末に完成予定。



昨日の運営には2年6組の大谷優奈さん・福田夢月さん・丸田千乃さんが関わりのイベントを成功させる一助となっていた。



馬場川パークに参加
5月28・29日にMDC(前橋デザインコミッション)主催のイベント「馬場川パーク」が行われ、準備委員会から本校の生徒たちが関わった。企画の段階では「ちんどん屋復活」を提案し、当日には「厩橋CHINDON倶楽部」と本校の吹奏楽部がコラボして前橋中心商店街をパレードする企画が実現した。



高商大にて 県内外の教育行政者や 高校教員に 本校の探究学習について 発表した。

探究 2022
4月7日(水) 7月22日(水)
発行部数 5,000部